

検討の観点	具体的視点・特色	具体例
<p>①基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮や工夫がされているか。</p>	<p>◆本教科書は教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）の達成を目ざし、これからの時代を生きていく児童たちにとっては、これまで以上に大切となる“自分とは異なる様々な価値観や言語、文化を背景とする他者たちと相互に尊重し合おう資質・能力”を、学校、地域、児童たちの実態に応じて、しっかり身につけていけるよう教材内容や学習方法が工夫されています。</p> <p>◆教材は古今東西の民話や児童作品、伝記や逸話、アスリートたちの活躍など様々なジャンルから厳選し、児童が幅広い知識や教養を身につけ、豊かな情操や道徳心を培うことができるようにしてあります。</p> <p>◆新学習指導要領に即した内容構成になっており、随所に授業の質的転換が図られるよう「考え、議論する」道徳授業を見通した配慮や工夫をしています。</p> <p>◆教材は内容項目ごとにまとめ、学年のはじめには自分自身に関する教材を多く配置するなど、児童の発達段階や学級の状況を考慮した配列にしています。また、多様な体験的な学習ができるように「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）、モラルスキルトレーニング、役割演技等を随所に取り入れ、基礎的・基本的な知識及び技能が着実に身につくようにしています。</p> <p>◆各学年ごとに、巻頭と巻末にそれぞれ「道徳開き」「ふり返り」のページを設けています。「道徳開き」では、今の自分を知り、確かな目標をもって主体的に学びを進めていけるようにしています。ふり返りでは、この一年間での心の変容を見取り、さらによりよく生きる意欲をもたせる工夫をしています。</p>	<p>■本教科書の編集方針 ・学習指導要領が求める資質・能力を重視した内容とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>重点事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 次の時代を切り開いていく資質・能力を育成する。</li> <li>② 考え、議論する姿勢を身につける児童を育てる。</li> <li>③ 現代的な課題を読み解く授業を展開する。</li> <li>④ 問題解決的な学習を重視する授業を展開する。</li> </ol> </div> <p>■巻頭の「道徳開き」 例 2年P2「二年生のどうとくの学習がはじまるよ」 ・今の自分・もくひょうとがんばりたいこと ・自分の心を磨く学び</p> <p>■巻末の「ふり返り」 例 3年P136 「一年間のどうとくの学習をふり返ろう」 ・道徳授業で一番心にのこった時間 ・一年間での自分の変容 ・四年生になってがんばりたいこと ・家の人から一言・先生から一言</p>
<p>②児童が習得した知識及び技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力を育むための配慮や工夫がされているか。</p>	<p>◆様々な問題に自ら主体的に関わろうとする知的好奇心や児童の興味・関心を喚起する教材を数多く取り上げています。また問題解決の過程で自分の思いや考えをまとめたり、発表したりしながら学びが深められるよう「学びの手引き」に適切な示唆や設問が示されています。</p> <p>◆物事を多面的・多角的に考えることを通して多様な価値観に気づき、判断の幅を広げ、人間理解がより深まるようにしています。特に価値葛藤の場面では他者との対話や議論を踏まえ、多様な価値に気付かせ、考えを深める工夫をしています。</p> <p>◆「ジャンプ」には、自分の考えや思いを自分の言葉で、自分の方法で自己表現できるように役割演技等の場面が設定されています。</p>	<p>■「役割演技」と「ジャンプ」 例 2年P50～53「およねいりすさん」 ・「りすさんたちは、しまへいくとちゅう、どんな話をしたでしょうか。それぞれのどうぶつになって、やってみましょう」 ・りすさん 白鳥さん あひるさん かめさん</p>
<p>③児童が主体的に学習に取り組む態度を養い、多様な人々との協働を促すための配慮や工夫がされているか。</p>	<p>◆多様な他者とのコミュニケーションを大切にし、自分と異なる意見や考えにふれ、新たな発見や気づきにつながるようにしています。他者とのかかわりの中での多様なアプローチから、道徳的価値の主体的な追究ができるようにしています。</p> <p>◆児童は、あいさつや礼儀作法等の大切さは理解しているものの、実際どうしたらよいのかと戸惑うことが少なくありません。モラルスキルトレーニングを取り入れ、具体的な体験を通して道徳的な習慣や行動が身につけられるようにしています。</p>	<p>■協働を促す多様な活動 ・対話する、認め合う、役割演技し合う、聞き合う、発表し合う、高め合うといったアプローチを大切にする。</p> <p>■スキル「やってみよう」 例 4年P44～46 あいさつでつながる（スキル） 5年P8～11 心をつなぐあいさつ（スキル）</p>
<p>④考え、議論する姿勢を身に付けるため、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等に取り組む工夫がされているか。</p>	<p>◆児童一人一人が、人としての生き方や社会のあり方について、多様な価値が存在することを認識しつつ、自ら考え、他者と対話、協働しながらよりよく生きる方向性を見出せるような工夫をしています。</p> <p>◆価値観の多様な社会にあって、答えが定まっていけない問いに向き合い、多様な他者との議論を重ねながら、考えを深め、理解が得られるようにしています。こうした学びを通して真理を求める態度、主体的に社会の形成に参画し発展に寄与する態度を養うことができます。</p> <p>◆内容項目ごとに導入を設け、本時の学習のねらいの明確化を図っています。教材を読む前に、どのような価値について学習するのか、何が問題になっているのかなどを把握できるようにして、問題解決的な学習ができるようにしています。</p> <p>◆「学びの手引き」のページを設け、児童一人一人が学び方を学び、自ら主体的に問題解決に繋がれるよう「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）となるように工夫しています。</p>	<p>■学びの手引き（問題解決的な学習） 例 1年P33「いっしょにかえろう」 5年P19「志高く、今を熱く生きる」</p> <p>■導入（主題への誘い）ねらいの明確化 例 4年P64～67「雨のバスの停りゅう所で」 ・みなさんの身のまわりには、どんなきまりがありますか。きまりはどうしてあるのでしょうか。きまりを守ることの大切さについて考えてみましょう。</p>
<p>⑤生命尊重や情報モラル等の現代的な課題の取り扱いは適切か。</p>	<p>◆児童を取り巻く様々な社会的・教育的課題を多く取り上げています。とりわけ、あってはならないいじめ問題や情報モラルについての学習を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができます。また、かけがえのない生命についての学習を通して、生命を尊び、自然を大切にすると、さらにはグローバル化が進む社会についての学習を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができます。</p>	<p>■現代的課題を読み解く教材 ・いじめ問題・情報モラル・生命尊重は、それぞれ特別のマークで示し、重点的に扱うようにしています。</p> <p>例 2年P22（いじめ問題） 「たっくんも いっしょに」 3年P24（いじめ問題） 「今度はぼくの番かな」 6年P36（情報モラル） 「食事のメール」 6年P124（生命尊重） 「生かされている「大切な命」」</p>
<p>⑥教科目標、学年目標、言語活動などの学習の基盤をつくる活動は充実しているか。</p>	<p>◆自分の心の内を自他ともに自由にのびのびと表現できるよう、日常の学校生活の中で、お互いを大切にする学級風土や環境基盤を大切にされた内容が盛り込まれています。</p> <p>◆道徳の時間のみならず、他の教科等での多様な教育活動の中で、言語活動を充実させ、一人一人が自由にのびのびと自己を語れるような配慮をしています。</p>	<p>■互いに思いやる心の交流 例 2年P58～61「電車の中で」</p>
<p>⑦他の教科の学習や特別活動、総合的な学習の時間等との関連及び他学年の内容との関連が図られているか。</p>	<p>◆1時間の道徳の授業で完結するのではなく、それを契機としてさらに他教科などでの学びに発展して理解が深まるよう他教科などとの関連が図られています。</p> <p>◆指導内容と関連させ、発展的な学習、調べ学習、話し合い活動、議論する、発表する、考えをまとめる等基本的な学習基盤の共有化に配慮しています。</p> <p>◆1年生は4本、2～6年生は5本の補充教材を用意しています。補充教材を各学校の教育活動の実態に合わせて活用することによって、他教科との関連の中で、さらなる深い学びができるようにしています。</p>	<p>■学校行事（学芸会との関連） 例 5年P74～79「森の絵」</p> <p>■補充教材 各学年4～5本 例 1年「見上げてみようよるの空」 2年「虫が大きい アンリ・ファール」 3年「音のこうずい」 4年「ゆう便の父」 5年「知床の自然」 6年「『しかみ像』にこめられた思い」</p>

↓表面1より続き

	検討の観点	具体的視点・特色	具体例
2 組織・構成・配列・分量	①全体構成や単元・題材の系統的な配列・関連付けは適切か。	◆各学年とも、発達段階や題材の系統性に配慮し、4つの領域の内容をバランスよく配置しています。また、多様な考えをもった児童の立場を考慮して多様なとらえ方ができる教材や印象的、感動的な教材を用意し、児童たちの話し合いが深まるようにしています。	■学習内容一覧 ・各学年の巻末表紙裏に4つの領域で掲載しています。
	②基礎的・基本的な内容を定着させるための配慮がされているか。	◆教材の内容や学習方法を工夫し、児童が幅広い知識や教養を身につけ、基礎的・基本的な内容の定着が図れるようにしています。 ◆スキル教材では、具体的にどう動いたらよいか、体験を通して身につけているようにしています。	例 「学びの手引き」「ジャンプ」「やってみよう」等
	③道徳的価値を深める工夫がされているか。	◆今日まで長く教育現場で繰り返し指導され、親しまれてきた教材、いわゆる定番といわれる教材を厳選し、心に響き、内面的価値の自覚を促す指導展開の充実が図れるようにしています。 ◆児童の心に響く道徳授業を目ざし、発問の精選、資料提示の工夫、対話、話し合い、役割演技、わくわくする導入等々、指導法を工夫し、児童の驚き、ひらめき、ときめき、つぶやきのある授業を構想できるような教材を厳選しています。	■感動を呼び起こす定番教材の充実 例 1年 P64「はしの上のおおかみ」 2年 P106「しあわせの王子」 3年 P86「花さき山」 4年 P76「ブラッドレーのせい求書」 5年 P114「銀のしょく台」 6年 P28「手品師」
	④授業の流れを想定した設問や示唆などの工夫がされているか。	◆授業の流れを想定した「学びの手引き」を教材ごとに設けました。教材本文につながる問いから、道徳的価値そのものへの問い、今後の行動への示唆など、価値理解を深めることができる設問となっています。「学びの手引き」では、発問の項目を取捨選択することによって、先生の教材観にあった授業が展開できます。また、役割演技をすることによって、道徳的価値の理解を深めることを目ざす「ジャンプ」を設け、児童の予想される反応なども記載しました。「学びの手引き」は、教科書全体を通して問題解決的な学習ができるように作成してあります。	■説問・示唆の工夫 例 多様なアプローチ ・～もし自分だったらどうしますか。 ・～みんなで話し合ってみましょう。 ・～○○さんに何かいってあげましょう。 ・～自分の考えをまとめてみましょう。
	⑤学校における年間行事との関連や季節、社会的行事等、地域の実情との関連付けが図られているか。	◆学校の年間行事（運動会、遠足、学芸会等）と関連させて指導ができるよう教材を配置しています。また、地域行事や学校行事、季節や様々な日本の伝統行事などとも関連させた教材を用意し、季節感やタイミング等にも配慮し効果的な指導が展開できるようにしています。	■郷土の行事・伝統との関連 例 2年 P82～85「大なわ大会」 (スポーツ大会との関連) 3年 P40～44「エイサーの心」 (郷土の伝統行事や秋の運動会との関連)
	⑥地域の伝統・文化や地域に関わる人物(偉人)等との関連付けが図られているか。	◆地域の文化・伝統にふれ、地域の人々のために尽くした人々や各分野で活躍している人物を多く取り上げ、児童が興味・関心をもって、その人物の本質に迫り、その功績や活動実績のみならず、苦労したことや心の葛藤をも追究し、その人物の生き方から多くのことを学べるようにしています。	■偉人の伝記 例 4年 P84～88 ゆめに向かって泳ぐ(寺川 綾) 5年 P100～104 二億人を救った化学者(大村 智) 6年 P68～71 日本を守るために (勝 海舟、西郷隆盛)
	⑦内容と分量のバランスは適切か。	◆各学年とも、教材の内容は児童に無理なく学習できるように構成し、配当時間は1年生は34時間、2～6年生は35時間を想定しており、年間を通してゆとりをもって授業展開ができるように構成されています。	■指導内容 1・2年生 19主題 3・4年生 20主題 5・6年生 22主題
3 使用上の配慮や工夫	①わかりやすさに配慮した語句や文章による表現は適切か。	◆教材の本文は、児童にわかりやすい、平易で簡潔な表現にしています。また、全ての児童にとって学びやすいレイアウト、紙面づくりに配慮しています。	■感動を呼び起こす挿絵、写真等 例 1年 P84～88「森のゆうびん屋さん」 ・感動的な芸術作品、人間の偉大さや美しさ、気高さにふれる。 例 6年 P90～93「百一才の富士」
	②文字、記号、単位、挿絵、図版、写真等の表記はわかりやすくなっているか。	◆判型を横広のAB判にして、挿絵や写真など大きく表すことにより読みやすくゆとりとした紙面とし、児童が楽しく、イメージ豊かに学べるようにしてあります。 ◆挿絵や写真は、いずれも鮮明かつ明るく、魅力的なものを採用しています。	■目次・表記の例 例 2年 もくじ ・二年生のどうとくの学しゅうがはじまるよ ・指導内容1～19 補充教材5 ・一年間のどうとくの学しゅうをふりかえろう 例 4年(指導内容別色分け) ・A自分自身に関すること(ピンク) ・B人との関わりに関すること(オレンジ) ・C集団や社会との関わりに関すること(青) ・D生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること(緑)
	③目次、索引、注、凡例、出典等は使いやすく配慮されているか。	◆目次、索引は、4つの視点の内容を色分けし、指導者側に一目でわかるようにしています。  ◆児童の理解を促進するため、難解な言葉や必要な情報には「注」をつけ、わかりやすい言葉で解説してあります。	
	④ユニバーサルデザインへの対応、環境への配慮がされているか。	・どの児童にも学ぶ喜び、わかる楽しさを感じさせ、確かな学力が身につけていく授業ができるように、配色や表記を工夫する等、様々な環境に対する配慮がなされています。 ・お互いの違いを認め、尊重し合う教室環境づくりやだれにでもわかりやすい授業を目ざし、資料提示の視覚化、仲間との共有化、身体的表現、役割演技などを工夫し、充実した授業を展開していくことができます。	例 1年 P64～P69「はしの上のおおかみ」 ・ストーリーの展開が挿絵でもわかるように視覚的な配慮がされています。また、「学びの手引き」「ジャンプ」で役割演技等を通して、個を生かした、その子らしい表現活動が展開できます。